

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 平成24年度の業務の実績に関する評価結果の概要

1 地方独立行政法人の評価制度

県は、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）が5年間で達成すべき目標（以下「中期目標」という。）を定め、これに対し法人は、中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、中期計画に従って5年間の業務運営を自主的・自律的に行う一方で、法人の業務の実績を第三者機関である評価委員会が事後に評価する制度が設けられました。

評価委員会は、法人が5年間で中期目標を達成できたかを評価することになりますが、各事業年度においても、中期計画の実施状況の評価し、中期目標の達成に向けて順調に進んでいるかをチェックすることになっています。

2 評価結果の概要

全体評価 A（中期目標の達成に向けて順調に進んでいる）

S	中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）
A	中期目標の達成に向けて順調に進んでいる
B	中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる
C	中期目標の達成のためにはやや遅れている
D	中期目標の達成のためには重大な遅れがある

大項目	評価の内容（特筆すべき点・課題）	
住民サービス等の質の向上	特筆すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ○コメディカルに対する専門研修への参加を積極的に支援しており評価できる。 ○インシデントレポートの大幅な増加により、医療安全対策の充実が図られている。 ○患者図書室開設への準備、患者相談体制の充実により、患者サービスの向上に積極的に取り組んでいる。 ○リハビリテーション科において、土曜診療を開始したことは評価できる。 ○地域がん診療連携拠点病院として、高精度放射線治療システムを導入し高精度放射線治療センターの運用を開始したことは評価できる。 ○がん地域連携クリニカルパスについては、岐阜県全域への運用拡大を図るなど積極的な取り組みが行われている。 ○医師の確保により、精神科病床を再開したことは評価できる。 ○DPCの分析調査の結果、機能評価係数Ⅱを上昇させたことは評価できる。 ○新たに糖尿病の地域連携パスの運用を開始するなど、地域連携への取り組みが積極的に実施されている。 ○災害時資器材展開訓練の実施や、災害時医療チーム（DMAT）を2チームに増員し医療体制の強化を図ったことは評価できる。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○高精度放射線治療システムについて、担当職員の育成を図るとともに、効果的な運用を行うことにより、地域のがん医療に貢献されたい。 ○医師不足地域への積極的な人的支援を充実させる努力をされたい。
業務運営の改善及び効率化	特筆すべき点	○医師事務作業補助者及び病棟事務補助者の増員や、新たに夜間専従看護師の採用により、医療従事者の負担軽減に取り組む努力が見られる。
	課題	○次年度には、人事評価制度が構築できるよう引き続き努力されたい。
予算、収支計画及び資金計画	特筆すべき点	○経営努力により、経常収支比率を上昇させたことは評価できる。また、職員給与対医業収益比率についても計画を達成できたことは評価できる。

